

令和２年度 第１回 立川市史編さん委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和２年８月２４日（月） 午後１時３０分～午後３時００分

開催場所 立川市役所 ３０２会議室

出席者 [委 員] 大友一雄 小林尚子 ◎白井哲哉 杉山章子 鈴木 功
豊泉喜一 ○檜崎茂彌 保坂一房 和田 哲
(◎委員長、○副委員長、50音順、敬称略)

[事務局] 産業文化スポーツ部長 矢ノ口美穂
市史編さん室長 比留間幸広 市史編さん係長 小川始
鳥越多工摩 朝比奈新 武田真幸 高野宏峰 藤野哲寛
渡邊皓太郎 山下祐香理

傍聴者 なし

１ 開会

産業文化スポーツ部長矢ノ口より開会のあいさつ。市史編さん担当から市史編さん室市史編さん係へ組織変更の報告。市民委員の小林尚子委員の紹介とあいさつ。

２ 委員長及び副委員長の選出

編さん委員長に白井哲哉委員、編さん副委員長に檜崎茂彌委員を選出。

３ 報告

① 市史刊行物頒布状況について（有償分）（資料１）

事務局より資料に基づいて説明をおこなった。

② 専門部会活動報告及び今後の活動予定について（資料２）

事務局より資料に基づいて説明があり、質疑をおこなった。

【主な質疑】

・(質問)現代部会の活動報告について、米国公文書館調査の概要を知りたい。

→(回答)まず目録確認などの予備調査を行い、来年度以降に資料の選出、調査と進む。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、調査は未着手である。

③ 平成３１年度市史編さん関連講演会について

平成３１年度市史編さん関連講演会について実施報告をおこなった。

４ 議題

新編立川市史の刊行の状況について（資料３）（資料４）

事務局より資料番号３に基づいて説明をおこなった。

【主な質疑】

・(質問)刊行計画に遅れが出た場合のために早めに予算に関わる見通しを立てるべきである。

→(回答)予算の締め切りまでに刊行が遅れることが確定となった場合、次年度に

予算を繰り越せるよう、編集委員会議等で刊行作業の進捗状況を共有しながら対応していく。

・(質問)資料調査に関する新型コロナウイルス感染症対策について、外部調査機関での事例を共有したい。

→(回答)人数の制限、マスク・手袋の着用、アルコール消毒液等を用意して感染拡大防止に十分配慮した上で対応している。

・(質問)現在自治体史事業を実施しているところで、既に期間の延長を決めている自治体などがあれば共有したい。

→(回答)A市史は半年(実質1年か)の事業期間延長、B市史は期間が不明だが延長の決定をした。

・(質問)砂川地域の資料に関しては別編としてまとめる案を検討すべき。

(質問)刊行計画に沿った調査を進める一方で、代替案は用意しておくべき。

→(回答)現時点では計画通りに予算を計上する予定である。刊行計画に間に合わないことが確定した時点で代替案を検討する。状況によっては刊行物の刊行順を変更することも想定している。

・(質問)調査ができないことによって年度内の刊行が困難になった場合、事務局は市に対して次年度へ予算の繰越も要求可能か。

→(回答)可能である。

・(質問)編さん事業側から市へ予算や事業期間に関する要望を出す場は確保されているか。

→(回答)毎回の予算のヒアリングでその都度議論していく。市史編さん事業は立川市史が完成するまで継続するという認識である。

5 その他、確認事項

平成31年度内が期限となっていた公共施設の再編計画、主に立川市の歴史民俗資料館移転・建て替えについての議論が一時見送りとなったことを報告した。改めて次回以降の編さん委員会で議論する。

今年度開催予定の市史編さん関連講演会について企画段階の概要を報告する。

開催日：令和3年1月17日(日)

場所：女性総合センター・アイムホール

講師：民俗・地誌部会から2名依頼、了承済。

講演会を開催する場合は席利用数の制限と感染対策に万全を期する。

＜終了 午後3時00分＞